

第 3 回 学校運営協議会 意見交換会 報告

- 1 ねらい — 教育は人 —
学校を支える様々な組織と先生方との信頼関係が基盤、
その基盤を作りましょう。
- 2 テーマ ① 先生から見た学校運営協議会、学校支援本部そして PTA
② 学校運営協議会等への要望
- 3 時 程 進行・・・・・・・・・・・・・・・・・・CS 委員 峯岸 誠 先生
全体会
話し合い 40 分
発 表 各グループ 2 分 10 分
まとめ 山中副校長 10 分
- 4 グループ編成
① 参加者 教員 20 名、学校運営協議会 10 名
② 5 グループに分ける
③ 係・・・進行、記録、発表
- 5 その他 ① 発表はホワイトボードを使う。
② 発表者は堀小の先生にお願いする。
③ 自己紹介のために名札を着用する。

教員からの声

- ・学校支援本部とは関わりがあるが、CS 委員との接点がないので、よくわからない。
- ・行事や授業を観ていただくなど、CS 委員とのかかわりをつくっていききたい。
- ・学校現場の苦勞を聞いてもらいたい、支援していただきたい。

CS 委員からの声

- ・先生方から話が聞けるのは、堀之内小の様子が直接わかってとてもよい。支援したい。
- ・先生方の勤務時間内で実施出来たらよいのだが、なかなか難しい。しかし、これで終わらず、またやっていきたい。

要望

- ・教員の実態を知りたい。
- ・議事録を年度末にではなく、
細めに出してほしい。
- ・意見交換会を開いてもらって
ありがたい。

学校運営協議会

- ・コワイイメージ → 話してみると
× 人善いがある よね、みんな
○ 意見を言ってくれる。
・地域や学校のことはよくわかっている
方々の集り

学校支援本部

Q 何人位いるの？

A. それぞれの専門の方がいて、2つの学校
力を発揮している。

（両会がた
くにある。
2つの学校
それぞれに
ある。）

地域と学校をつなぐもの
教員にだけではできないこと
をサポートしてくださる。
手厚い。

わんわんバトロール事務局は坂内にある。

（保健科 文科系）

① 学校運営協議会 …… 学校運営にかかわる会
(第三者から見ても学校をよくするために話し合う)
・ 学校支援本部 …… 実際に関する手強い雑務を引き受けている。
↓
年度当初に計画を立て、それをもとに活動する。
※年度末にしてほしいことをまとめておいてほしい。

◎ CSは、分かりにくい。
PTAの人でも、CSと支援本部のちがいが分からず、いかにメンバーが重なっていることもある。
学校の方針を共有して活動している。→ 伝えにくい ^{必要がある}
CSは、活躍の場ではない。 → 意見を伝えるだけ
立場が難しい。

◎ CSのメンバー …… 学識経験者、校長やせん、一般公募

◎ 支援本部の活動について。
いろいろな要望をきいてくれている。
・ 学校と支援本部との活動で、広がりが出てきている。
・ 保護者会で話題にしていくと、PTAにも理解が広がっていく。子供たちにも。

②
要望は特になし。← 平和だから。

2年生分科会

まとめ

2017.6.13 CSと先生の意見交流会

いろいろ頼める (困ったら相談) 教育は人 信頼の基盤づくり

☆CS-支援本部-PTA (分かった) の役割の理解が必要

保護者の方へ 保護者 先生 議事録

いろいろな目で学校を見てくれる 交流会

もっと つながる 接点がない 何とかとりたい CS委員と顔見知りになり 授業みていただく

芝生について 授業にも入って

もと親子で遊んだり 学校外のことやりきれない 地域の力で